

## 報 告

## 保育者養成におけるピアノ演奏技術の習得に関する考察

## — 初心者のための教則本の比較 —

山路 麻佳\*

## ＜要 旨＞

保育現場では音楽を介した表現活動により、子どもの豊かな感性や表現する力、創造性が育まれていく。そのためには、指導者である保育者自身が豊かな感性をもち、音楽を楽しみながら表現していく力が必要となる。しかし、近年ピアノの経験がない初心者の入学生が増加しており、ピアノに対して不安な気持ちを抱えている学生が多く見受けられる。

本稿では、保育者を目指す学生が効率よく効果的にピアノ演奏技術を身につけるために、どのような教材を採択するのがよいか検討することを目的とした。全国の保育者養成校で使用されている教則本を調査し、各教則本の比較からピアノ演奏技術を習得するだけでなく、学生が主体的に学びに向かい感性や表現力を養うことのできる教材を考察した。

その結果、各教則本はどれも一長一短があることが明らかとなった。したがって、今後は本稿の調査を活かし、養成校で活用できる独自の教材の作成を検討することが課題となる。

キーワード：保育者養成校、音楽教育、ピアノ初心者、バイエルピアノ教則本、ピアノ教本

## 1. はじめに

保育現場では音楽を介した表現活動により、子どもの豊かな感性や表現する力、創造力が育まれていく。平成29年度に改訂告示された「幼稚園教育要領」<sup>[1]</sup>、「保育所保育指針」<sup>[2]</sup>、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」<sup>[3]</sup>では、5領域「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」のねらい及び内容に基づく活動全体を通して資質・能力が育まれている幼児の園生活修了時の具体的な姿として「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」10項目が示された。そのひとつに「豊かな感性と表現」が示され、子どもが園生活の中で様々な音や音楽に触れることで感性を育み、音楽に親しみ歌を歌うなど表現する楽しさを味わうことが大切な活動となる。そのためには、保育者自身が豊かな感性をもち、日々子どもたちと楽しみながら音楽に親しむことが重要であると考え。そうした音楽表現活動の中で必要となってくる能力の一つがピアノ演奏技術といえる。

本学でのピアノ実技科目では、保育現場で音楽を介した表現活動の教育ができるためのピアノの演奏技術の習得を目指している。教材には『新訂 バイエルピアノ教則本』を用いており、教則本の中から40曲に抜粋したものを1年次で学習し、修了後に『最新・幼児の音楽教育』を用いて子どもの歌の弾きうたいの課題に入ることで、保育者に必要なピアノの基礎技術から実践で活用できる力を習得できるようにしている。しかし近年、これまでにピアノの経験が全くない初心者の学生が年々増加してきている。また、日々学生と接している中で、バイエル100番までの課題を終えることに精一杯の学生が多く、音楽を表現することに楽しさを感じている学生は少ないのではないかと。

こうした現状を受け、ピアノの演奏技術を習得するだけでなく、ピアノを通して音楽を表現することの楽しさを感じながら、感性を養っていくことのできる教材について再考する必要があると考えた。本稿では、保育者を目指す学生が効率よく効果的にピアノ演奏技

\* 西南女学院大学短期大学部 保育科

術を身につけるために、どのような教材を採択するのがよいか検討することを目的とする。

## II. 調査方法

### 1. 教則本の調査

教則本の採択にあたり、全国の保育者養成校ではどのような教材を用いて指導しているのか調査を行う。まず、厚生労働省のHP内<sup>[4]</sup>に公開されている「指定保育士養成施設一覧」（平成30年4月1日時点）から幼稚園教諭免許・保育士資格の両方が取得できる大学・短期大学を調べ、開講形態が昼間部の施設に限定する。その後、各校のHPからシラバスを閲覧しピアノ実技科目で使用している教材を調査する。

### 2. 比較研究の方法

上記の方法によって示された教則本の比較を行う。まず、養成校で使用されている様々な教則本の特徴を楽譜や文献から調査していく。次に、各教則本から学べる事柄とその順序を比較するため「音符・休符」「調性」「拍子」「速度標語」「強弱記号・標語」「発想標語」「その他に習得できる要素」の7点を抽出してそれぞれを表にし、内容を精査していく。教則本が複数巻に分かれているものについては、使用している養成校のシラバスの記載を基に楽譜の種類を採択する。

## III. 調査結果

### 1. 教則本の使用状況

全国の指定保育士養成施設684校の中から463校が限定され、各養成校のHPを検索した結果、364校のシラバスの閲覧が可能であった。各養成校のピアノ実技科目では、図1のような教材を使用していることが明らかとなった。

図1で示されているように、教材にピアノ教則本を用いている養成校は、364校中56%の203校であった。そのうち、出版社にばらつきはあるものの、本学が使用している『新訂バイエルピアノ教則本』を含めた様々な『バイエルピアノ教則本』を使用している養成校が180校と大半を占め、それ以外に『バーナムピアノテクニック』8校、『バスティンピアノベーシックス』10校、『メトード・ローズピアノ教則本』3校、『トンブソン現代ピアノ教本』2校といった結果がみられた。また、ピアノ教材を用いず、子どもの歌の楽譜を用いてピアノ技術の習得をしているところが26%、その他にピアノ曲集や各学校独自の教材、学会が発行している教材を用いている養成校が18%であった。

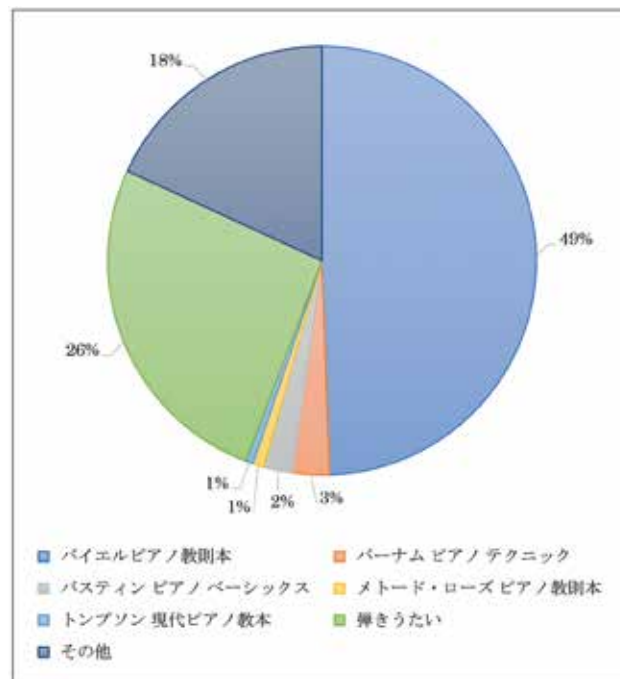


図1. ピアノ使用教材の比較

## 2. 教則本の精査

養成校での使用がみられた『バイエルピアノ教則本』『バスティン ピアノ ベーシックス』『バーナム ピアノ テクニック』『トンプソン 現代ピアノ教本』『メトード・ローズ ピアノ教則本』は、一般的に広く知られている教則本である。これら5冊の内容を『バイエルの謎 日本文化になったピアノ教則本』<sup>[5]</sup>、『ピアノ教本ガイドブック～生徒を生かすレッスンのために～』<sup>[6]</sup>を参考に精査し比較していく。

### 1) 教則本の特徴

#### (1) バイエルピアノ教則本

ドイツの作曲家フェルディナント・バイエル (1806-1863) によって書かれ、1850年に初版された。1880年に日本に持ち込まれて以来、長年にわたりピアノ導入教材の代表的な存在として知られている。現代では、『標準 バイエル・ピアノ教則本』、『子供のバイエル』、『おとなのためのバイエル教本』など、複数の出版社からバイエルピアノ教則本が出版されているが、本稿では本学が使用している音楽之友社出版『新訂 バイエルピアノ教則本』を用いて分析していく。(以下、『バイエル』と表記する。)

発刊された当時は、Vorshule im klavierspiel für zartestens Alters (幼い生徒のためのピアノ演奏の予備教本) という名称であった。また、バイエルが次の言葉を残しているように、初心者に向けてつくられた教則本であることが分かる。「この本ははじめてピアノをひく人のために、美しいひき方がすぐわかるように、やさしく書かれたものです。はじめは、幼い子供にもあまりむずかしくなく、だんだん進んで行くようにしました。(中略) 初歩の入門書として、生徒が1・2年間勉強するだけの材料を集めたものです。」<sup>1)</sup> 各曲には番号がふってあり、標題はついていない。54番までは左手もト音記号で書かれている。これにより読譜の導入は容易であるが、一方で55番以降にヘ音記号が出てきた際に、読譜と鍵盤位置の変化によりヘ音記号への苦手意識が生じてしまう可能性も否めない。

教則本のはじめに「楽譜の初歩」として、4頁にわたり「譜表」「音部記号」「大譜表」「音符・休符」「拍子記号」「音名」といったピアノ演奏に必要とされる楽典の知識について記載されている。それに続き「右手の指の打鍵練習」「左手の指の打鍵練習」「両手の共奏練習」といった運指の予備練習があった後、曲に進んでいく。

#### (2) バスティン ピアノ ベーシックス

アメリカの作曲家ジェーン・バスティン (生没年不詳)、ジェームス・バスティン (1934-2005) 夫妻によって書かれ、改訂を経て、現在の『ベーシックス』シリーズが1985年に初版され、日本語版は1989年に出版された。ピアノの基本的な内容を学習する『ピアノ』、楽典を学ぶことのできる『セオリー』、演奏会用曲集の『パフォーマンズ』、指を鍛えるための『テクニック』の4つのシリーズがあり、それぞれ『プリマー』から『レベル4』までの5段階で構成されている。本稿では、養成校のシラバスを基に実際に使われている『ピアノ』から『レベル1, 2, 3』の3冊 (109曲) を用いる。(以下、『バスティン』と表記する。)

先行研究で、中村氏が次のように述べている。「最大の特徴は、全調メソッドであるということである。各調でポジションをマスターすれば、移調を簡単にできるようになる。」<sup>2)</sup> 移調は、保育現場において子どもの声域に合わせて歌う際に必要となってくる技術なため、学生にとって有益な内容といえる。さらに、この教則本では109曲中44曲に歌詞がついており、子どもの歌の課題に入る前に少しずつ弾き歌いに慣れていくことができる。各曲には、標題とカラフルな挿し絵がついており、歌詞以外からもイメージを膨らませ表現に繋がれると示唆される。また、新しい要素が出てきた際は、その都度説明が図や言葉で丁寧に記載されているだけでなく、問題形式をとる等、楽典的知識を確実に習得し楽曲に結び付けることができる。

#### (3) バーナム ピアノ テクニック

アメリカの作曲家エドナ・メイ・バーナム (1907-2007) によって書かれ、1975年に日本で初版された。『ミニブック』、『導入書』、『テクニック1~4』、『全調の練習』の7種類のシリーズからなるが、本稿では、養成校で使用されている『導入書』『テクニック1』の2冊 (120曲) を用いて比較する。(以下、『バーナム』と表記する。)

『導入』の3頁にある「解説と使用法」には、「たくさんの体操や運動にたとえられたバーナムの練習には、子どもの想像力を育て、リズム感をよびますようなユーモラスな挿し絵がついています。(中略) 初期の段階から指の練習として与えられたものをそのままひくだけでなく、このように自分のものとして内部から音楽的に表現する習慣を身につけると、やがて曲の解釈にも自然につながっていき、暗譜も楽になり、後に豊かな演奏をするたいせつな基礎となりましょ

う。」<sup>3)</sup>と述べられている。『テクニク』と題がついている教則本だが、身体の動きと結びつけることで、想像力を働かせ、テクニクの習得だけに留まらず豊かな演奏をすることに重点をおいている。

また、1冊の中で5グループに分かれており、各グループが4～16小節程度の短い12曲で構成されている。グループの中で、スケール・アルペジオ・和音・オクターブ・手の交差・半音階など、多様なテクニクが使われており、グループが進むごとに段階的に各テクニクの難易度が上がっている。

#### (4) トンプソン 現代ピアノ教本

アメリカの作曲家ジョン・トンプソン (1889-1963) によって書かれ、1972年に全音楽譜出版社より初版された。『現代ピアノ教本』は1～5巻のシリーズからなるが、本稿では、養成校で使用されている1、2巻の2冊 (102曲) を用いる。(以下、『トンプソン』と表記する。)

まえがきに、「本書の目的は、ピアノを勉強するにあたって正確なしかも完全な基礎をつくり、生徒が音楽的に感じ、考えることができるようにすることにあります。第1段階の生徒にもいかにして音楽的に理解して弾くかを教えることは可能な筈です。生徒たちは非常に単純なメロディーや、つましやかな小さなピアノ曲を弾くにすぎませんが、それらがちょうどレンガのようなもので、積み重ねていけばもっとも大きな楽曲をくみだてられるということを強く印象づけてください。」<sup>4)</sup>と記載があり、初歩の段階の短い曲においてもフレーズや音楽の形式、音楽の明暗等の説明が丁寧にされており、どんな簡単な曲でも音楽的に理解して弾くことに重点を置いているのがわかる。また、『バステイン』と同様に、102曲中23曲に歌詞がついており、各曲に標題と挿し絵がついていることからイメージを膨らませて演奏することが示唆される。

また、楽譜に腕の使い方や鍵盤のポジション等を写真で載せており視覚的に分かりやすい。しかし、先行研究で中村氏が次のように述べている。「全曲5本の指の位置で弾ける物に限ってあるので弾きやすいと言えるが、すべての音に指番号が振られているため、その位置に指を置くと読譜をせずにピアノが弾けてしまうというデメリットが生じる。」<sup>2)</sup> 本学の授業においても、音符を見ずに指番号を頼りに弾いてしまうことにより間違った音で演奏している事例が多数見受けられる。この教則本の2巻では、指番号の記載は減少しているが、導入の段階から指番号を頼りに弾くことに慣れて

しまうと、読譜力の向上に繋がらず、他の曲を弾く際に困難となってくるのではないかと推測される。

#### (5) メトード・ローズ ピアノ教則本 ピアノの一年生

フランスの作曲家エルネスト・ヴァン・ド・ヴェルド (生没年不詳) によって書かれ、1901年頃初版された。日本人ピアニストの安川加寿子 (1922-1996) 氏がフランスでこの本を使って教育を受けたことから、この教則本を翻訳し1951年に出版した。(以下、『メトード・ローズ』と表記する。)

はしがきに「どんなに小さな予備練習や練習曲でもメロディックになるようにつとめた。」<sup>5)</sup>と記載がある。翻訳者の安川氏も「まず最初に歌を2・3度うたってやります。そのメロディーを覚えさせてから、指ですぐそれを弾くようにさせます。」<sup>5)</sup>と述べてあり、フランスの伝統的な音楽教育とされたソルフェージュからピアノで歌うことを大切にしている。

各曲に標題や絵が描かれているだけでなく、大半の曲の冒頭に「やわらかく」「なでるように」「力づよく」等、日本語で曲想についての記載が多くみられる。楽譜から得る多くの情報 (音高・音価・様々な音楽記号) を瞬時に認知し演奏していくことは初心者にとって難しく、日本語で明記されることで、曲の雰囲気や自然と意識して表現することができるかと推測される。

教則本は、第一課から第六課で構成されている。全曲にわたり左頁が「予備練習ー練習曲」、右頁に標題のついた楽曲となっており、左頁では「付点音符の練習」「八分音符の練習」と明記しており、学習者が目標を明確にしやすく、予備練習で目標となる技術を習得した後、それを活かして右頁で表現も加えて演奏することができる。また、「1-2-3-4-」「かぞえなさい」といった拍を数えながら弾くよう指示している曲もあり、正しく拍子感やリズムの習得ができるようになっている。

## 2) 教則本の比較

5つの教則本から「音符・休符」「調性」「拍子」「強弱記号・標語」「速度標語」「発想標語」「その他に習得できる要素」の7点を表にして比較した。学ぶ順序も分かるようにするため、各教則本の掲載曲を10曲ずつに分ける。その際、予備練習や練習曲は省き、曲番号や標題のついているものを1曲とする。

また、冒頭で前述したように本学の授業では『バイエル』で音楽の基礎知識・技術を習得した後、『最新・幼児の音楽教育』を用いて子どもの歌の課題に取り組

む。そのため、7点を比較する際は、子どもの歌を演奏するにあたり、各教則本の習得内容が十分であるかという点に着目し、本学で使用している教本や先行研究を参考に比較していく。

(1) 音符・休符

新しく学ぶことのできる音符・休符を表にした(表1)。

『バスティン』と『メトード・ローズ』では16分音符が含まれていないのが分かる、『バーナム』では、付点4分音符が含まれていない。本学で使用している子どもの歌の教本では、16分音符・付点4分音符は多用されているため、後に子どもの歌に取り組む本学の学生たちにとっては音符・休符の習得内容が十分ではないと考える。(『バスティン』は『バスティン ピアノ ベーシックス4』で16分音符が採りあげられる。)『バイエル』と『トンプソン』では、子どもの歌で用いられる音価は概ね学習でき、且つ段階的に習得していくことができると示される。

(2) 調性

各教則本で使用されている曲の調性を表にした(表2)。また、表2を基に使用されている調性の曲数をまとめた(表3)。

米倉氏の先行研究によると子どもの歌の調性は、へ長調、ハ長調、ニ長調、ト長調の頻度順になっている。<sup>6)</sup>表2から、どの教則本もハ長調からスタートしているのが分かる。『バーナム』の調性はハ長調のみであるが、楽譜のまえがきに「各巻とも終わったら、調性を変えて練習してみるのもよいことです。」<sup>7)</sup>と記載されているように、移調を視野に入れて勉強できるように作られていることが分かる。『メトード・ローズ』は長調・短調ともに3つずつ学ぶことができるが、子どもの歌に使われるニ長調が出ていない。『バスティン』と『トンプソン』は幅広く調を学ぶことができる。『バイエル』も子どもの歌に出てくる調を学ぶには十分とみられるが、子どもの歌で最も多いへ長調が85番まで出てこず曲数も少ない。子どもの歌で最も使われている調性であるため、『バスティン』『トンプソン』『メトード・ローズ』のように早い段階で習得できるのが望ましいと考える。

表1 音符・休符の比較

	バイエル (106曲)		バスティン (109曲)		バーナム (120曲)		トンプソン (102曲)		メトード・ローズ (48曲)	
	音符	休符	音符	休符	音符	休符	音符	休符	音符	休符
1~ 10										
11~ 20										
21~ 30										
30~ 40										
41~ 50										
51~ 60										
61~ 70										
71~ 80										
81~ 90										
91~ 100										
101 以降										

初心者のための教則本の比較

表 2 調性の比較

※ ( ) …掲載曲数 \*実際には八長調ではないが、調号は八長調で記譜されている。

		バイエル (106曲)	バスティン (109曲)	バーナム (120曲)	トンブソン (102曲)	メトード・ローズ (48曲)
1~10	長調	ハ:(10)	ハ:(10)	ハ:(10)	ハ:(7)/ト:(3)	ハ:(10)
	短調					
11~20	長調	ハ:(10)	ハ:(3)*/ハ:(5)/ト:(2)	ハ:(10)	ハ:(6)/ト:(2)/ハ:(1)/ニ:(1)	ハ:(7)/ト:(3)
	短調					
21~30	長調	ハ:(10)	ハ:(3)/ト:(7)	ハ:(10)	ハ:(1)/ト:(3)/ハ:(1)/ ニ:(1)/イ:(3)/変口:(1)	ハ:(5)/ト:(4)/ハ:(1)
	短調					
31~40	長調	ハ:(10)	ハ:(8)*/ト:(2)	ハ:(10)	ハ:(1)/ト:(5)/ハ:(3)/ニ:(1)	ハ:(3)/ト:(1)/ハ:(3)
	短調					イ:(1)/ト:(1)/ニ:(1)
41~50	長調	ハ:(10)	ハ:(8)/ハ:(1)/ト:(1)	ハ:(10)	ハ:(4)/ト:(1)/ハ:(1)/ニ:(1)/ 変ホ:(1)/変イ:(1)/ホ:(1)	ハ:(3)/ト:(2)/ハ:(2)
	短調					ト:(1)
51~60	長調	ハ:(10)	ハ:(9)/ト:(1)	ハ:(10)	ハ:(5)/ト:(4)/ハ:(1)	
	短調					
61~70	長調	ハ:(8)/ト:(2)	ハ:(2)*/ト:(3)/ハ:(3)/ニ:(2)	ハ:(10)	ハ:(3)/ト:(4)/ハ:(1)/ 変イ:(1)/イ:(1)	
	短調					
71~80	長調	ハ:(2)/ト:(5)/ニ:(2)/ イ:(1)	ハ:(2)/ニ:(1)/イ:(3)/ホ:(3)	ハ:(10)	ト:(4)/変ホ:(1)/変ニ:(1)	
	短調		イ:(1)		イ:(1)/ト:(1)/ハ:(1)/ホ:(1)	
81~90	長調	ハ:(6)/ト:(1)/ハ:(1)/ イ:(1)/ホ:(1)	ハ:(4)/ト:(1)/ハ:(1)	ハ:(10)	ハ:(2)/ト:(4)/ニ:(1)/ イ:(1)/変ホ:(1)	
	短調		イ:(3)/ニ:(1)		ニ:(1)	
91~100	長調	ハ:(2)/ハ:(5)/変口:(1)	ハ:(3)/ト:(1)/ハ:(1)/ ニ:(2)/変ニ:(1)	ハ:(10)	ハ:(2)/ト:(3)/ハ:(2)/ニ:(1)	
	短調	イ:(2)	イ:(1)/ニ:(1)		ニ:(2)	
101 以降	長調	ハ:(4)/ハ:(2)	変ニ:(2)/変イ:(3)/変ホ:(3)	ハ:(10)	ハ:(1)	
	短調		イ:(1)		イ:(1)	

表 3 調性別掲載曲数一覧

	バイエル	バスティン	バーナム	トンブソン	メトード・ ローズ
ハ長調	82	52	120	31	28
ト長調	8	18		33	10
ハ長調	8	11		11	6
ニ長調	2	5		6	
イ長調	2	3		5	
ホ長調	1	3		1	
変口長調	1			1	
変ホ長調		3		3	
変イ長調		3		2	
変ニ長調		3			
イ短調	2	6		3	1
ホ短調				1	
ニ短調		2		3	1
ト短調				1	2
ハ短調				1	

(3) 拍子

各教則本に使用されている拍子を表にした(表4)。また、表4を基に使用されている拍子の曲数をまとめた(表5)。

米倉氏の先行研究では、子どもの歌の拍子は、半分

以上が4分の4拍子である。続いて4分の2拍子となっている。<sup>6)</sup> どの教則本においても4分の4拍子が多用されているのが分かる。『トンプソン』が4分の4拍子と4分の3拍子の割合がほぼ同じであるが、4分の4拍子を学習するには十分な曲数である。

表4 拍子の比較

※ ( ) …掲載曲数

		バイエル (106曲)	バスティン (109曲)	バーナム (120曲)	トンプソン (102曲)	メトード・ローズ (48曲)
	分母	分子(掲載曲数)				
1~10	4分の	4 (5/3 (3)/無 (2))	4 (7/3 (3))	4 (8/3 (2))	4 (4/3 (5)/2 (1))	4 (7/3 (3))
11~20	4分の	4 (7/3 (2)/2 (1))	4 (6/3 (2)/2 (2))	4 (9/無(1))	4 (3/3 (5)/2 (2))	4 (7/3 (3))
21~30	4分の	4 (9/3 (1))	4 (6/3 (2)/2 (2))	4 (9/3 (1))	4 (4/3 (5))	4 (4/3 (3))
	8分の				6 (1)	6 (2)/3 (1)
31~40	4分の	4 (6/3 (4))	4 (10)	4 (8/3 (1)/無(1))	4 (2/3 (2)/2 (1))	4 (2/3 (4))
	8分の				6 (5)	6 (3)/3 (1)
41~50	4分の	4 (6/3 (4))	4 (8/3 (2))	4 (9/3 (1))	4 (3/3 (5)/2 (1))	4 (2/3 (2)/2 (1))
	8分の				6 (1)	6 (3)
51~60	4分の	4 (3/3 (3)/2 (2))	4 (8/3 (2))	4 (10)	4 (4/3 (3)/2 (1))	
	8分の	6 (1)/3 (1)			6 (2)	
61~70	4分の	4 (5/3 (3)/2 (1))	4 (5)	4 (10)	4 (7/3 (1))	
	8分の	6 (1)	6 (5)		6 (1)/3 (1)	
71~80	4分の	4 (4/3 (5))	4 (7/3 (2))	4 (10)	4 (2/3 (4)/2 (1))	
	8分の	6 (1)	6 (1)		6 (2)	
	2分の				2 (1)	
81~90	4分の	4 (4/3 (3)/2 (1))	4 (3/3 (4))	4 (10)	4 (2/3 (1))	
	8分の	6 (2)	6 (1)		6 (4)/3 (1)	
	2分の		2 (2)		2 (2)	
91~100	4分の	4 (2/2 (2))	4 (3/3 (4)/2 (1))	4 (9/2 (1))	4 (2/2 (5))	
	8分の	6 (1)/3 (5)			6 (1)	
	2分の		2 (2)		2 (2)	
101以降	4分の	4 (3/3 (2))	4 (3/3 (2))	4 (18/3 (2))	3 (1)/2 (1)	
	8分の	3 (1)	6 (2)			
	2分の		2 (2)			

表5 拍子別掲載曲数一覧

	バイエル	バスティン	バーナム	トンプソン	メトード・ローズ
4分の4	54	66	110	33	22
4分の3	30	23	7	32	15
4分の2	7	5	1	13	1
8分の6	6	9		17	8
8分の3	7			2	2
2分の2		6		5	

(4) 強弱記号・標語

新しく学ぶことのできる強弱記号・標語、および使用されている曲数を表にした(表6)。

『バーナム』では、強弱記号はみられなかった。その他の教則本では強弱記号の記載があったが、『バイエル』『メトード・ローズ』は教則本の途中からの記載で、学べる種類が6,7種類となっており、『バステイン』『トンプソン』では教則本の序盤から記載され、且つ学べる種類も10,11種類と違いがみられた。

(5) 速度標語

新しく学ぶことのできる速度標語、および使用されている曲数を表にした(表7)。

『バイエル』では、楽譜の冒頭に速度標語の記載はあるが、速度の変化を表すものはみられない。『バステイン』『トンプソン』では、冒頭に速度指示があるだけでなく、曲中に速度の変化を表す標語も多くみられる。

特に『トンプソン』では、曲中の変化を表す標語の種類が多い。一方、『バーナム』には速度を示すものは記載されていない。『メトード・ローズ』では速度標語による記載は著しく少ないが、「ふつうの速度で」や「すこし速く」など、日本語による指示が多くみられた。

(6) 発想標語

新しく学ぶことのできる発想標語を表にした(表8)。『メトード・ローズ』では、速度標語と同様に「やさしく」や「陽気に」など、日本語による指示が多くみられ、標語での記載は著しく少ない。『バーナム』も身体の動きからイメージして表現することの特徴としているため、発想標語の記載は少ない。『バイエル』は子どもの歌で使われる発想標語は使用していると考えられるが、『バステイン』『トンプソン』の方が多様に使われていることが分かる。

表6 強弱記号・標語の比較

	バイエル (106曲)	バステイン (109曲)	バーナム (120曲)	トンプソン (102曲)	メトード・ローズ (48曲)	
1~10	記載なし	<i>p f</i>	記載なし	<i>pp p mp mf f</i> < >	記載なし	
11~20		<i>mp mf</i>		<i>ff</i>		
21~30		< >				
31~40						
41~50				<i>ppp</i>		<i>pp p mf f</i> < >
51~60	<i>p mf f</i> < > cresc. dim.				cresc. dim.	
61~70						
71~80		cresc. dim.				
81~90						
91~100		<i>pp ff</i>				
101以降						
記載のあった曲数	47	108	0	86	8	



初心者のための教則本の比較

表 7 速度標語の比較

※英語とイタリア語の表記がみられたため、イタリア語を太字で示す

	バイエル (106曲)	バスティン (109曲)	バーナム (120曲)	トンブソン (102曲)	メトード・ローズ (48曲)	
1~ 10	• Moderato • Allegretto	• Moderately • Lazily • Slowly	記載なし	• Andante • Moderato • rit.		
11~ 20		• Moderato • Allegretto • Allegro		• Allegro		
21~ 30		• Andante • rit.		• Andantino • Allegretto	• rall.	
31~ 40	• Andante	• Largo • Bright march tempo				
41~ 50		• Moderate rock • Moderate blues tempo • Bright march time		• Andante moderato		
51~ 60		• March tempo • Fast		• poco rit.		
61~ 70	• Allegro moderato	• Steady march tempo		• Tempo di Valse • a tempo		
71~ 80				• Allegro moderato • Vivace • rall.		
81~ 90		• Moderately fast		• Presto • Tempo I • molto rit. • allargando		
91~ 100	• Adagio • Allegro	• Waltz tempo • Strict march time		• Slowly		
101 以降						
記載の あった 曲数	75	78		0		68

表 8 発想標語の比較

※英語とイタリア語の表記がみられたため、イタリア語を太字で示す

	バイエル (106曲)	バスティン (109曲)	バーナム (120曲)	トンブソン (102曲)	メトード・ローズ (48曲)
1~ 10	• Comodo.	• Sneakily • Lively		• legato	• Sostenuto
11~ 20	• legato				
21~ 30		• Fast boogie • With spirit		• Lively • staccato	
31~ 40	• sempre legato	• Steady rock beat • Mysteriously		• Playfully	
41~ 50		• Earily • legato		• Rhythmically	
51~ 60				• Con moto • lightly and gracefully • Cheerfully • dolce leggiero	
61~ 70	• dolce		• legato • staccato	• sostenuto e semplice • scherzando • dolce	
71~ 80	• leggiero	• Bright boogie beat		• molto legato • Very slowly • Animato • grazioso	
81~ 90	• staccato • marcato	• Con moto • Con spirito • Animato • Alla marcia		• con brio • Con anima • espressivo	
91~ 100		• Con brio • cantabile		• giocoso	
101~ 以降		• With motion			

(7) その他に習得できる要素

(1)～(6)で抽出したもの以外に習得できる要素を表にした(表9)。

各教則本で習得できる要素に様々な違いがあり比較が難しいため、保育者を目指す学生に必要と考えられる要素に着目する。『バーナム』では、子どもの歌に多用されるスキップのリズムを表す付点のリズムや、弾き歌いの伴奏で用いられる分散和音の記載がないこと

が分かる。また、子どもの歌で言葉のリズムを活かして用いられるシンコペーションのリズムも『バーナム』『メトード・ローズ』では出てきていない。技術面では『メトード・ローズ』には、指くぐりの技術を習得する曲がない。指くぐりの技術は、本学が使用している子どもの歌の教本でも使われる技術なため、習得内容としては十分ではないと考えられる。

表9 その他に習得できる要素の比較

	バイエル (106曲)	バスティン (109曲)	バーナム (120曲)	トンブソン (102曲)	メトード・ローズ (48曲)
1～ 10	・スラー ・反復記号	・スラー ・反復記号 ・臨時記号 ・タイ ・スタッカート ・重音、和音	・反復記号 ・スタッカート ・重音、和音 ・手の交差	・スラー ・タイ ・臨時記号 ・アフタクト ・重音 ・2音のフレーズ	・スラー ・反復記号 ・伴奏形(アルベルティバス) ・伴奏形(分散和音の上行形)
11～ 20	・重音	・アクセント	・音階(指くぐり) ・短前打音 ・フェルマータ ・5指保続 ・^ (山型アクセント)	・スタッカート ・lh, rh. ・手の交差 ・半音階 ・臨時記号 ・和音	・D.C.、Fine ・アフタクト ・臨時記号
21～ 30	・タイ	・ペダル ・lh (手の交差) ・コーダ ・アフタクト	・メロディーと伴奏のバランス ・2音のフレーズ	・アクセント ・フェルマータ ・伴奏形(分散和音の上行形) ・伴奏形(ワルツバス) ・付点リズム(  )	・タイ ・アクセント ・5指保続 ・フェルマータ ・付点リズム(  ) ・重音
31～ 40	・伴奏形(アルベルティバス)	・付点リズム(  ) ・コードネーム ・D.C. al Fine ・オクターブ記号	・重音スタッカート ・タイ ・長調と短調 ・臨時記号	・D.S. al Fine、セーニョ記号 ・D.C. al Fine ・シンコペーション ・オクターブ記号	・転調 ・臨時記号 ・伴奏形(ワルツバス) ・1カッコ、2カッコ ・連打の指かえ
41～ 50	・オクターブ記号 ・1カッコ、2カッコ ・付点リズム(  ) ・伴奏形(分散和音の上行形)	・二部形式 ・音階(指くぐり) ・三部形式 ・音程	・半音階 ・転調 ・アクセント	・伴奏形(アルベルティバス) ・1カッコ、2カッコ	・かえ指 ・三和音
51～ 60	・低音部記号 ・アクセント ・カノン形式	・1カッコ、2カッコ ・三和音と転回形	・かえ指 ・アフタクト	・指くぐり ・半音階 ・^ (山型アクセント) ・ペダル	
61～ 70	・スタッカート ・スタッカーティッシモ ・同音連打の指かえ ・音階(指くぐり) ・アフタクト ・6度、3度の重音	・シンコペーション ・フェルマータ ・曲中でのテンポ変化 (Andante → Allegretto)	・ペダル ・L.H. ・R.H. ・オクターブ記号	・曲中でのテンポ変化 (Moderato → Andantino) ・付点リズム(  )	
71～ 80	・臨時記号 ・左手5指保続 ・短前打音 ・手の交差 ・転調 ・伴奏形(ワルツバス)	・短音階	・両手1指保続	・長音階と短音階 ・Coda	
81～ 90	・フェルマータ ・付点リズム(  ) ・^ (山型アクセント)	・長三和音、短三和音 ・D.C. al Coda、  ・伴奏形(分散和音の上行形)	・同音連打の指かえ ・6度の重音	・短前打音 ・テヌート	
91～ 100	・旋律短音階 ・シンコペーション ・複前打音	・伴奏形(ワルツバス) ・伴奏形(アルベルティバス) ・半音階		・転調 ・スタッカーティッシモ ・トリル	
101～ 以降	・複付点リズム ・替え指		・グリッサンド		

### 3. まとめ

本学が使用している『新訂 バイエルピアノ教則本』は、子どもの歌に必要な演奏技術は網羅しており、段階的に習得していくことができることが分かった。しかし、保育者として身につけてほしい感性や表現力といった点では、『バスティン』や『トンプソン』の方がイメージを膨らませ、楽しく親しみをもって学習していくことができるのではないかと推察される。加えて『バスティン』で習得できる移調の技術は、保育現場で子どもの音域に合っていない曲があった際、子どもが歌いやすい調性に合わせて弾くために有益である。また、『バスティン』や『トンプソン』のように歌詞付きの曲を導入から用いることは、子どもの歌の弾きうたいのスムーズな習得に繋がると考える。実際、バイエル 100 番までの課題を習得した学生が、弾き歌いに入った途端に苦勞してスムーズに演奏できなくなるといった様子も見受けられる。したがって、ピアノ演奏技術と弾きうたいを分けて習得していくのではなく、導入から少しずつ歌詞付きの曲を取り入れることにより、弾きうたいの技術を涵養できると考える。では、この2つのどちらかを採択するかと考えると、『バスティン』では16分音符の学習ができないことや、『トンプソン』では指番号を頼りに楽譜をみてしまう可能性がある等、この教則本のみで指導を行うには不十分な点が見られた。また、先行研究で中村氏が次のように述べている点も、本学の学生にとっても同じように負担が大きいと考える。「薄い本が何冊にも分かれているため、これを本学に導入した場合、学生にたくさんの教材を買わせてしまうことになりかねない<sup>2)</sup>。『メトード・ローズ』も掲載数の少なさから学べる要素に限りがある。『バーナム』はイメージを膨らませながら技術の向上をしていくことはできるが、「強弱記号・標語」「発想標語」といった音楽表現の手がかりといえる要素が出てこないため、他の教材と併用して使用するには効果的だが単独でこの教則本を用いることは難しいと考える。

### IV. 考察と今後の課題

全国の養成校のシラバスから5つの教則本を採りあげ、初心者がピアノ技術を習得するだけでなく豊かな感性や表現力を身につけるために適した教材がないか探求した。

調査結果から、『バイエル』や『トンプソン』のようにピアノ演奏の基礎となる楽典的知識を十分に習得できるものや、『バスティン』のように保育者にとって必要な弾きうたいや移調の技術の習得に長けているものなど、教則本によってそれぞれ有益な特徴があることが明らかになった。一方で、教則本によっては習得できる内容の少なさや指番号の記載法等、短期大学の2年間で習得しないと見えない学生にとっては内容が十分ではない点があることが分かった。どれも一般的な初心者向けの教則本であるため、保育者として必要なピアノ演奏技術の習得を目指す学生にとって効率よく効果的とはいえない点が見られた。

今回比較した内容から、保育者を目指す学生にとってピアノの演奏技術を身につけるだけでなく、移調の技術や、弾きうたい、音楽表現を豊かにするための要素（強弱記号や発想標語等）を集約し、1冊で習得することのできる教材があると望ましい。また、楽典的知識と演奏技能を並行して学習することで理解を深め、楽譜から様々な情報を読み取る力をつけ、気付き感じたことをどう表現していくかイメージを膨らませながら、自分なりに表現するといった、知識や技能、思考力、創造性、表現力を系統づけて学ぶことが必要と考える。これにより、学生がピアノを通して音楽の楽しさを感じ自主的に学びに向かう姿勢に繋がっていくのではないだろうか。そうした学生が保育者になった時、子どもの気持ちに寄り添いながら音や音楽に親しみ、表現する楽しさを味わい、子どもの豊かな感性や表現する力を育てていくことができるのではないかと考える。

今後は、保育者を目指す学生が効率よく効果的に学ぶことができる独自のテキストの作成を検討していきたい。

### 謝 辞

本論文を執筆するにあたり、英文抄録の作成にご協力をいただいた松崎維信様（理化学研究所）に心より感謝申し上げます。

### 引用文献

- 1) フェルディナンド・バイエル著：『新訂 バイエルピアノ教則本』p.3. 音楽之友社. 1905

- 2) 中村 礼香：ピアノ初心者のレッスンにおける教則本の比較。鹿児島女子短期大学紀要。第 50 号。p.79. 2015
- 3) エドナ メイ パーナム著，大島 正泰監修，中村 菊子解説：『バーナム ピアノテクニック（導入書）』p.3. 全音楽譜出版社。1975
- 4) ジョン・トンプソン著，大島 正泰訳：『ジョン・トンプソン 現代ピアノ教本 1』p.7. 全音楽譜出版社，1972
- 5) 堀内 久美雄，安川 加寿子訳：『メトードローズ・ピアノ教則本』p.3, 音楽之友社，1950
- 6) 米倉 孝・米倉 由起：「日本の子どもの歌」唱歌童謡集の分析と一考察。p.122. p.123 山陽論叢。第 24 卷。2017
- 7) エドナ メイ パーナム著，大島 正泰監修，中村 菊子解説：『バーナム ピアノテクニック（導入書）』p.2. 全音楽譜出版社。1975
- [12] 辻 浩美・鹿戸 一範・田中 麻衣：ピアノ初学者のための使用テキストの実態と傾向。小池学園研究紀要 (15)。29-39. 2017
- [13] 今田 政成：ピアノ教則本「バイエル」に関する一考察。白鷗大学教育学部論集 11 (1)。91-104. 2017
- [14] 佐藤 千佳：教員養成、保育者養成における歌唱とピアノの融合の試みーピアノ初心者用教本比較による考察ー。日本女子大学紀要 人間社会学部 第 26 号。73-85
- [15] ジェーン・バステイン、ジェームス・バステイン著：『バステイン ピアノ ベーシックス ピアノ（ピアノのおけいこ）レベル 1、2、3』。株式会社 東音企画。
- [16] ジョン・トンプソン著，大島 正泰訳：『ジョン・トンプソン 現代ピアノ教本 2』。全音楽譜出版社。
- [17] 井口太編著：『最新・幼児の音楽教育』朝日出版社。2018

### 参考文献

- [1] 文部科学省。幼稚園教育要領解説。東京：フレーベル館，2017。
- [2] 厚生労働省。保育所保育指針。東京：フレーベル館，2017。
- [3] 内閣府，文部科学省，厚生労働省。幼保連携型認定こども園教育・保育要領。東京：フレーベル館，2017。
- [4] 厚生労働省「指定保育士養成施設一覧」（平成 30 年 4 月 1 日時点）  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000345025.pdf>
- [5] 安田 寛著：『バイエルの謎 日本文化になったピアノ教則本』。音楽之友社。2012
- [6] 山本 美芽：『ピアノ教本ガイドブック～生徒を生かすレッスンのために～』。音楽之友社。2017
- [7] 森 麻希子：音楽表現に結び付く導入期の教材ー養成校における音楽的体験の模索ー。四條畷学園短期大学紀要。第 51 号。27-33. 2018
- [8] 宮脇 長谷子：保育者養成におけるピアノ指導の現状と課題ー養成校へのアンケート調査を通してー。静岡県立大学短期大学部研究紀要。15-W 号 -1. 1-10. 2001
- [9] 兵藤 恭子：保育者をめざすピアノ初心者が『バイエルピアノ教則本』で学べる事。千葉敬愛短期大学紀要 (39)。401-415. 2017
- [10] 浅見 英夫：バステインピアノメソッドについて。東京家政大学研究紀要。第 19 集 (1)，19-29. 1979
- [11] 徳富 聖子・安原 雅之：ピアノ教則本の比較研究にむけて。山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要 第 18 号。75-86. 2004
- [18] 全音楽譜出版社出版部 編：『標準 バイエル・ピアノ教則本』全音楽譜出版社。1955
- [19] 全音楽譜出版社出版部 編：『子供のバイエル』全音楽譜出版社。1998
- [20] 板東 貴余子・本間 正治 共著：『おとなのためのバイエル教本』ドレミ楽譜出版社。2015

Examination on the acquisition of the piano playing skill in  
childcare worker training  
– Comparison among the method books for beginners –

Asaka Yamaji \*

< Abstract >

In the process of childcaring, children learn to be sensible, expressive, and creative while expressing themselves through music. To this end, it is essential that their mentors, i.e., childcare workers, are themselves sensible and are capable of expressing themselves through music with joy. In recent years, however, the number of new students without any experience on piano playing is increasing, and many of them appear to have anxiety about piano.

The aim of the present study is to examine which method books are the most efficient and effective for the students preparing to be childcare workers to acquire the piano playing skill. We surveyed the method books used at various childcare worker training schools nationwide. Not only have we evaluated their effectiveness for improving the piano playing skill, but we have also examined if they can encourage the students to learn subjectively and let them become more sensible and expressive.

The study revealed that each method book has its advantages and disadvantages. Therefore, it will become important to consider developing an original method book that can be used at childcare worker training schools based on the outcome of the present study.

Keywords: childcare worker training school, music education, beginners of piano,  
Beyer's elementary instruction book for the piano, piano method books

---

\* Department of Early Childhood Education and Care, Seinan Jo Gakuin University Junior College